

## ＜シンポジウム (2)-2-4＞パーキンソン病の非薬物療法とエビデンス

### エビデンスの無い治療法の対応

藤本 健一<sup>1)</sup>

要旨：300人のパーキンソン病患者から、代替医療の利用状況を聴取した。128人(42.7%)がサプリメントを、163人(54.3%)が健康器具の使用経験を有していた。パーキンソン病に対する効能・効果が公にみとめられたサプリメントや健康器具は存在しない。多くの患者は、それを理解していたが、中にはパーキンソン病に効果があると信じて商品を購入した患者もいた。また、購入価格が異常に高く被害を受けたと感じている患者も存在した。継続使用率はサプリメントでは概して高く、健康器具ではマッサージ機は比較的高かったが、各種の筋トレ器具やエアロバイクなど身体を動かすための器具はいちじるしく低かった。患者にこの事実を伝えることが重要と考えられた。

(臨床神経 2013;53:1056-1058)

Key words：パーキンソン病、代替医療、サプリメント、健康器具、電位治療器

ここでいうエビデンスの無い治療法とは、パーキンソン病に対する治療効果が公にみとめられていない治療法のこと、いわゆる代替医療を指す。具体的にどのような治療法があり、どの程度の患者が利用しているのかを知る目的で、通院患者より聞き取り調査をおこなった。対象は2012年12月～2月に著者の外来を受診したパーキンソン病患者と介護者、先着300組である。患者の年齢は $68.8 \pm 9.1$  (平均 $\pm$ SD：以下同様)歳、罹病期間は $10.4 \pm 6.4$ 年、男性124人、女性176人である。さまざまな代替医療が利用されていたが、経口摂取するもの(いわゆるサプリメント)と健康器具に分けて集計した。代替医療の使用経験がまったくないのは300人中94人(31.3%)、サプリメントの使用経験があるのが128名(42.7%)、健康器具の使用経験があるのが163人(54.3%)、両方とも使用経験があるのが85人(28.3%)であった。

サプリメントごとに、購入歴のある人の数と現在の使用率をTable 1に示した。購入経験のある人のうち、現在も使用している人の割合は比較的高かった。我が国の法律によると、経口摂取する物は「薬」か「食品」のいずれかに分類される。食品の中には、実験データに基づいて審査を受け、厚生労働省によって健康づくりのための効能・効果の表示がみとめられた特定保健用食品や、国の設定した基準を満たす特定の栄養素を含んでいれば表示が許可される栄養機能食品がある。2012年末現在1,030品目が特定保健用食品としてみとめられているが、今のところパーキンソン病に対する効能・効果の表示がみとめられた食品は存在しない。そこで、サプリメントの購入者は、どのような効能・効果を期待して購入しているかを質問した。その結果、たとえば青汁は便秘、ブルーベリーは視力など、それぞれのサプリメントごとに期待する効能・効果はことなり、パーキンソン病に対する効能・効果を

期待して購入した人の割合は少ないことがわかった(Table 1)。しかし、中にはパーキンソン病に効くとの宣伝を信じて購入した例もあった。クロレラ購入者12人中3人は「クロレラを使ってパーキンソン病が良くなった」という体験談を信じて購入していた。購入価格も1ヵ月1,680円～3万円まで、大きな開きが存在した。プロボリスの購入者も、5人中2人(40%)がパーキンソン病に効くとの体験記を信じて購入しており、ひとは月3万円、もうひとは一括で20万円を支払っていた。

健康器具の種類ごとに、購入歴のある人の数と現在の使用率をTable 2に示した。マッサージ機の中には数十万円するマッサージチェアーから、数千円の局所マッサージ用の器具までがふくまれている。マッサージ機購入者の現在の使用率は比較的高く、46.8%であった。その一方で、各種の筋トレ器具、エアロバイク、ルームランナー、ロデオボーイなど、自分で身体を動かすタイプの健康器具の使用率は低かった。せつかく購入しても、運動は長続きしない現実を物語っている。調査した300人中28人(9.3%)に購入歴のあった電位治療器とは、電極間または電極とアースの間に高電圧をかけて電界を発生させ、その中に人間が入ることで治療する医療機器である。我が国では薬事法による医療機器クラスIIに分類され、認証基準に適合する製品に関しては、頭痛、肩こり、慢性便秘、不眠症の緩和が効能・効果としてみとめられている。もちろんパーキンソン病に対する効能・効果がみとめられている訳ではない。購入した28人中6人がパーキンソン病に効くと説明を受けて購入していたのは問題であろう。購入者は男性4人、女性24人と圧倒的に女性が多かった。情報源は製品説明会(16人)や知人の紹介(16人)が多く、新聞、テレビ、雑誌、ダイレクトメール、インターネットは

<sup>1)</sup> 自治医科大学内科学講座神経内科学部門〔〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1〕  
(受付日：2013年5月30日)

Table 1 サプリメントの購入歴、使用継続率、パーキンソン病に対する効果の期待率

サプリメントの種類	購入歴のある人 (人)	使用継続率 (%)	PD に対する効果の期待率 (%)
総合ビタミン剤	15	93.3	0.0
クロレラ	12	83.3	25.0
青汁	10	60.0	0.0
グルコサミン	9	88.9	0.0
コンドロイチン	9	66.7	0.0
各種の酢	7	85.7	0.0
漢方薬	7	42.9	42.9
コエンザイム Q10	6	66.7	100.0
ブルーベリー	6	66.7	0.0
コラーゲン	6	33.3	0.0
DHA	5	100.0	0.0
核酸	5	60.0	0.0
プロポリス	5	60.0	40.0
プロテイン	5	40.0	0.0
ミキブルーン	4	75.0	0.0
カルシウム	4	50.0	25.0
ムクナ豆	4	25.0	100.0
特殊な水	4	25.0	0.0

※購入者が3人以下のサプリメントを除く

各1人と少なかった。無料体験場に行ったところ、高額商品のクレジット契約を迫られたなど、トラブルの報告もあった。購入価格は平均53万円（中古の20万円～130万円まで）と高額であった。現在の使用率は17.9%と、決して高くはなかった。300人中12人（4%）に購入歴のあったプラチナ繊維の布団は、自分の発した熱による遠赤外線効果で身体を暖めるもので、確かに冬は暖かくて寝るのに快適かもしれない。パーキンソン病に効くと信じて購入したのは1名だけであった。問題は商品の価格で、平均購入額は39万6千円と高額であった。購入後の使用率は66.7%と比較的高かったが、購入した12人中2人が、高く売りつけられて被害に遭ったと感じていた。

代替医療に関する被害、トラブルについて訊ねたところ、300人中9人が被害あるいはトラブルを経験していた。高く売りつけられたと感じているのが電位治療機で2人、プラチナ繊維の布団で2人、宗教への入信を勧められたのが2人、サプリメントの勧誘電話が迷惑、サプリメントの訪問販売をしている娘がノルマのため売りつける、ロデオボーイでお尻の皮が剥けたが各1名であった。

もし患者から代替医療に関する相談を受けたなら、パーキンソン病の効能・効果が公式に証明されたサプリメントは存在しない。パーキンソン病への直接的な効能・効果が公式に

Table 2 健康器具の購入歴、使用継続率

	購入歴のある人 (人)	使用継続率 (%)
マッサージ機	77	46.8
各種の筋トレ器具	51	9.8
エアロバイク	38	2.6
電位治療器	28	17.9
ルームランナー	14	14.3
プラチナ布団	12	66.7
低周波治療器	9	11.1
ロデオボーイ	6	0

※購入者が5人以下の健康器具を除く

みとめられた健康器具もない。高額な健康器具を購入しても、実際に使っている患者は少ない。たとえその健康器具が快適な生活に役立つにしても、適正な価格なのか吟味すること。また、体験場に行くと、巧みな話術で押し切られる可能性がある。自宅での契約はクーリング・オブが可能であるが、店頭あるいは体験場での契約はクーリング・オブができないことに注意する。このことを患者に伝えるのが、主治医に課せられた使命であろう。

※本論文に関連し、開示すべきCOI状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。

**Abstract****Problem of alternative medicine in Parkinson's disease**Ken-ichi Fujimoto, M.D., Ph.D.<sup>1)</sup><sup>1)</sup>Department of Neurology, Jichi Medical University

I asked about the usage of alternative medicine to 300 outpatients with Parkinson's disease. 163 patients (54.3%) had experience with health appliance and 128 patients (42.7%) had experience with supplements. There is no health appliance or supplement whose efficacy for Parkinson's disease is approved publicly. Most of the patients understood it but some patients who purchased the goods believed to be effective in Parkinson's disease. In addition some patients feel affected because the purchase price is abnormally high. Continuous usage rate is generally high in supplements, relatively high in massage machine, but significantly low in equipment to move the body, such as muscle training equipment of various types or exercise bike. It seems important to inform this fact to Parkinson's disease patients.

(Clin Neurol 2013;53:1056-1058)

**Key words:** Parkinson's disease, alternative medicine, supplement, health appliance, electric potential treatment instrument

---